

第14回 RAC フォーラム

防災・安全管理入門 全国フォーラム

平成29年3月4日(土) 12:30~3月5日(日): 12:00

かつては全国にあった「川の水浴場」を復活する意義と取組みについて、地元住民の皆さんと国交省が連携して進めている球磨川の事例などを交えながら、その仕掛け人であった国土交通省河川環境課の堂菌様にお話しいただきます。参加者の皆さんの地域の水辺体験活動にとっても、とても良いヒントになるお話です。また、今年の方科会は乳幼児の川遊びやアクティブ・ラーニングとは、体験活動時の事故について弁護士の方をお招きして事件事例検証も行います。魅力的な川遊びのデザインなど多彩な分科会を準備いたしました。川の体験活動に興味のある方など、お誘い合わせの上ご参加下さい。お待ちしております。

- ◆ 場 所:東京海洋大学 越中島キャンパス 1号館
住 所:東京都江東区越中島 2丁目1-6
- ◆ 参加費:7,000円(1日のみ4,000円)
※学生割引制度や学生ボランティアスタッフ枠を設けています。
※基調講演のみの参加も可能です。
- ◆ 対象者:川の指導者、市民団体、教員、学生、河川管理者など
講演内容に興味のある人、活動に興味関心のある人 など



河川
基金

主催:NPO法人川に学ぶ体験活動協議会
協力:(公財)河川財団 子どもの水辺サポートセンター

3月4日(土)		
12:30	受付開始	
13:00~13:10	開催挨拶・オリエンテーション	会場:第1号館
13:10~14:30	セッション1 基調講演 『川の水浴場を復活する取組みについて』 講師:堂園俊多氏(国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課)	かつては全国にあった「川の水浴場」を復活する意義と取組みについて、地元住民らと国交省が連携して進めている球磨川の事例などを交えながらお話いただきます。
セッション2 分科会 Part1 会場:1号館		
14:40~16:40	分科会1 《幼児期の川遊び》 講師:塚原俊也氏(くりま高原自然学校) ファシリテーター:豊留雄二氏(自然遊びクラブ)	幼児期の川遊びの取組についてお話をしていただきます。 幼児が川で遊ぶことでどんな効果があるのか?川で遊ぶ時の安全についても話し合います。
	分科会2 《アクティブ・ラーニングとは!》 講師:金沢 緑氏(関西福祉大学教授) ファシリテーター:吉野英夫氏(公益社団法人河川財団)	アクティブ・ラーニングとは何かを具体的にお話していただきます。また、実際に行っているアクティブ・ラーニングについても実践を踏まえたお話をしていただきます。学校連携コーディネーター養成講座の関連講座です。資格をお持ちの方、資格取得を考えておられる方はご参加ください。
	分科会3 《判例から学ぶ・法的責任について》 講師:早川 修氏(弁護士) ファシリテーター:北川健司氏(NPO法人エヌエスネット)	各地の活動団体に役立つ事故事例、判例などについて、指導者の責任や行わなければならないことなど具体的にお話しをしていただきます。また、課題を共有します。
17:00~	交流会(費用 4,000 円程度の予定)	会場: 検討中
3月5日(日)		
セッション3 分科会 Part2 会場:1号館		
9:00~11:00	分科会4 《かわあそびデザイン検討ワークショップ》 講師:田中謙次氏(一般社団法人環境文化研究所) ファシリテーター:成崎 聡氏(NPO法人ひむか感動体験ワールド)	川に関心のない人でも川へ来たくなるようなデザインを考えます。実際のデザインを考えて作って体験をします。
	分科会5 《川を活用した人づくり・地域づくり》 講師:佐藤陽平氏(ひとねるアカデミー) ファシリテーター:菅原一成氏(子どもの水辺サポートセンター)	川を活用した地域づくりに関する分科会です。リスクマネジメントのその先を考え、人づくり、地域づくりの展開を考えます。
	分科会6 《RACリスクマネジメント専任講習について》 講師:北川健司氏(NPO法人エヌエスネット) ファシリテーター:田中清也氏(Go Natura)	RACリスクマネジメント講座の対象者別の活用法を考えます。専任講師の養成講習会と講師資格者の更新を行います。
11:10~11:40	セッション4 分科会報告 ファシリテーター:平山康弘氏(NPO 法人鶴見川流域ネットワーク)	気になる他の分科会のエッセンスを共有します。
11:40~11:50	閉会	

